

シラバス

授 業 科 目	薬物動態の解析Ⅱ		
(英 文 名)	Clinical PharmacokineticsⅡ		
担 当 教 員	吉富博則 他		
単 位 数 (期別)	△2(前)	対 象 学 生	4P

■授業のねらい・概要■

3年までに学んできた薬物動態の理論に基づく投与計画の知識と技能を、個々の患者の治療に利用する考え方と方法を身につける。医療現場で使用されている実際の資料、即ち処方箋、カルテ、血中濃度測定データ、医薬品添付文書等を用い、講義と演習形式で行う。

【C13(5)、実務実習事前教育(2)】

■授業(学習)の到達目標■

1. 治療的薬物モニタリング(TDM)の意義を説明できる。
2. TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。
3. 至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動学的パラメーターを用いて説明できる。
4. 代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシュミレートできる。(技能)
5. 静注と経口での薬物連続投与後の血中濃度をグラフ化出来る。
6. 添付文書情報により、処方せんの使用用量で示した投与計画の妥当性が評価できる。
7. 投与計画の妥当性と患者ノンコンプライアンス時の問題点を討議する。
8. 代表的な疾病への薬剤師の薬物療法への関与のあり方を説明できる。
9. 代表的な疾病への薬剤師の薬物療法への関与の重要性を討議する。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1 序論、薬物投与計画(処方箋における用法・用量の意味づけ) (吉富) | 10 薬剤師の薬物療法への関与のあり方2
臓器移植(佐藤) |
| 2 静注での薬物投与計画(講義) (吉富) | 11 薬剤師の薬物療法への関与のあり方3 |
| 3 静注での薬物投与計画(演習) (吉富) | 心不全(佐藤) |
| 4 点滴と経口投与での薬物投与計画(講義) (吉富) | 12 薬剤師の薬物療法への関与のあり方4
喘息(佐藤) |
| 5 点滴と経口投与での薬物投与計画(演習) (吉富) | 13. 薬剤師の薬物療法への関与のあり方5
がん性疼痛(田中) |
| 6 病態による投与計画の変更(吉富) | 14 薬剤師の薬物療法への関与のあり方6
MRSA(田中) |
| 7 添付文書情報の投与計画への利用(テトラサイクリン等) (吉富) | 15 薬剤師の薬物療法への関与のあり方7
てんかん(田中) |
| 8 添付文書情報の投与計画への利用(セフゾン等) (吉富) | |
| 9 薬剤師の薬物療法への関与のあり方1
糖尿病(佐藤) | |

シラバス

■成績評価の方法・基準■

臨時試験並びに定期試験の成績によって評価する。

■使用テキスト■

後日、指示する。

■参 考 書■

後日、指示する。

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日～金曜日：随時
----------------------------	------------